



## 来年に結びつく夏休みを

明日から夏季休業である。私はとりあえず勝山臨海教室の引率があつて（天気良さそうラッキー！）、7月最終週から8月第二週までが夏期講習と面談、その後、第三週～第四週に夏休みをもらって、最終週から再び出校する予定である。

\*

学年集会の際にK藤先生が「思いっきり楽しみなさい」とおっしゃっていたが、「夏休みのしおり」に掲載されている「宿題」を見ると、いったい何を思いっきり楽しむのか微妙な感じではあるが（笑）、そこはしっかり計画を立てて、思いっきり楽しめるようにしたいものである。というのも、来年の夏こそは、それこそ「思いっきり楽しむ」ではなく、「思いっきり勉強する」になるざるを得ないからである。

例えば、部合宿に行く人もいるだろうが、来年はおそらく参加することはないだろう。だからこそ、今年の部合宿は、後悔することのないように充実したものにしてほしいと思うのである。例えば、家族で旅行に出かける人がいるかも知れない。しかし、来年は「今年は止めておこうか…」と言うことになるかも知れない。例えば、オープンキャンパスは来年でイイやと思っている人もいるかも知れない。しかし、来年は講習に参加したい気持ちの方が強くなって、夏期講習をいっぱい予定に入れてしまった結果、かえって大学に出かける時間がとれなくなってしまうということも考えられるのである。

というわけで、来年のことを考えながら、有意義な夏休みにしてほしいのである。昨日

勉強した時間を塗りつぶす表を配ったが、それも、そんな来年へと結びつける意味があつてことである。中3の受験勉強の時に同じようなことをした人がいるかも知れないが、「何となく…」ではなく、ある程度正確に勉強時間の「見える化」を試みることは、来年の自分の勉強時間を確保する計画を立てる際、大いに参考になるはずなのである。

自分では結構勉強しているつもりだったが、いざ表にしてみると、まだまだ「量」の面が不足しているということが分かったりするかも知れない。また、塗りつぶした棒グラフの形を見ることで、休みの最初と最後のグラフは伸びているが、8月中頃の棒グラフが停滞しているといったことが分かったりすれば、来年はそこに講習を重点的に配置することで、中だるみを克服できるのではないかといった見通しを持つこともできるようになるのである。もちろん、部合宿で勉強時間が確保できなかったというような、明確な理由が存在する場合もあるだろうから、そういう「言い訳」？もメモ欄に記入しておけば、来年はより精度の高い、かつ実行可能な計画が立てられるようになるというものだ。

\*

というわけで、遊びの面でも勉強の面でも来年のことを意識して、受験生にとっては大きな意味を持つ来年の夏へと、今年の夏休みをうまく結びつけてほしい。

とはいっても夏「休み」である！ 体調管理にだけは気をつけて、「思いっきり楽しみなさい」と言っておこう！